

# 令和元年度第1回野洲市地域公共交通会議 会議議事録

令和元年11月19日（火）

午前10時00分～午後11時00分

市役所本庁2階庁議室

参加委員 酒井 敏一、芝 久生、相井 俊宏、石田 博、野村 義明、田中 康嗣、坂口  
良一、北村 雅利、北村 真治、田中 暢之、田中 千晴、長尾 健治（敬称略）  
事務局 協働推進課 山田 忠司、中川 学士

## 1 開会

**事務局：**皆様おはようございます。本日は大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。只今から令和元年度第1回野洲市地域公共交通会議を始めさせていただきます。進行役を務めますのは、野洲市協働推進課の山田です。よろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、現時点で12名中11名の出席をいただいておりますので、野洲市公共交通会議規則第4条に基づき、会議が成立していることを報告いたします。また、滋賀県土木交通部の芝参事につきましては、少し遅れて出席されると連絡をいただいておりますので、全員出席となります。また、滋賀県守山警察署の伊吹課長様は本日都合が悪いとのことで、代理で石田様に出席いただいております。それでは開会にあたりまして、市民部長の田中がご挨拶申し上げます。

## 2 部長あいさつ

委員の皆さまおはようございます。本日は令和元年度第1回野洲市公共交通会議を開催させていただきましたところ、公私ご多用にも関わらずご出席いただきありがとうございます。皆様方にはそれぞれのお立場で本市の公共交通の維持、ご支援ご協力いただいていることをお礼申し上げます。また、新たに委員にご就任いただきまして、皆様には快くご快諾賜りましたことにお礼申し上げます。

本市の地域公共交通会議でございますけれども、本市の交通施策であるコミュニティバス運行について主にご審議をいただくものでございます。コミュニティバスの運行事業につきましては、高齢者や障がい者または運転免許を持たない、自家用車を持たない市民の日常生活の支援として、重要な交通施策としてとらえていて、今年度長大路線や運行を見直しまして、5路線から7路線へ拡大し、市民の利便性をはかってきたところでございます。本日の会議で実績効果等をお示しいたしますので、ご意見をいただきながら、本日の議題としましては、令和2年度にコミュニティバスの運行管理室を現在の野洲市役所から野洲市総合体育館の一室に移転することに加えて、大篠原地先にてクリーンセンターの余熱を利用した余熱利用施設が開設することを予定していることから、総合体育館を中心とした運行及び余熱利用施設までの路線延伸による運行ダイヤ見直しを提案して参りたいと思います。余熱利用施設につきましては、令和2年度7月を目途に開設する予定となっております。

おります。

委員の皆様におかれましてはご審議いただきますとともに野洲市の公共交通の現状と課題についても様々な視点・お立場で意見交換や情報共有をいただきながら、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

#### ◆ 委嘱状交付 ◆ 自己紹介 ◆ 書類確認

**事務局：**まず、委嘱させていただき委員の皆様それぞれ机の上に委嘱状を置かせていただいております。なお、昨年度から継続して委嘱させていただいている方につきましても、委嘱期間が一旦終了しておりますので、委嘱状をお渡しさせていただいております。

なお、今年度初めての会議でございますので、順番に自己紹介をいただきたいと思っております。(委員の方に順番に自己紹介を行っていただき、その後事務局の自己紹介を行う。)

続いて、本日の資料の確認をさせていただきます。(順次資料確認)

本会議の公開についてですが、野洲市情報公開条例第23条で「実施機関に置く附属機関及びこれに類するものは、法令等の規定により公開することができないこととされている場合その他正当な理由がある場合を除き、その会議を公開するよう努めるものとする。」と規定されていることから、原則公開とさせていただきますので、ご了解くださるようお願いいたします。なお、議事録を作成するにあたり、本会議の内容の写真撮影とボイスレコーダーでの録音をさせていただくことについても、あわせてご了解いただきますよう、よろしくようお願いいたします。

### 3 委員長の互選

**事務局：**それでは委員長の互選を行います。委員会規則第4条に基づき、委員長は委員の互選によって定めるものとしております。互選方法についてお諮りします。いかがいたしましょうか。

**委員：**事務局案でいかがでしょうか。

**事務局：**事務局案として、野洲市自治連合会の田中委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

**委員：**異議なし

(田中委員長、委員長席に移動)

**委員長：**ただいま委員長にご指名をいただきました田中でございます。先ほど田中部長のあいさつにもありましたように、今年度コミュニティバスのダイヤ見直しを行うということでございますが、やはりコミュニティバスというものは実態を踏まえ、市民の意見を取り入れて、より使いやすいものになるよう、常に見直していくことが大切だと思います。今回の見直しに際し、委員の皆様のご忌憚のないご意見をいただければと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

**事務局：**ありがとうございます。

続きまして、規則第3条第4項において、委員長が欠けたときはあらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理することになっております。それでは田中委員長、指名をお願い致します。

**委員長：**それでは坂口委員、よろしいでしょうか。(坂口委員、頷いて了承いただく)

**委員長：**それでは、代理も決まりましたので会議を進めていきたいと思えます。規則第4条第2項に基づき、委員長が議長を務めることになっておりますので、今後進行を進めていきます。会議進行にあたりましては、スムーズな進行になりますよう皆様方の格段のご協力をお願いいたします。

それでは、次第4の令和2年度野洲市コミュニティバスダイヤ改正について、事務局から説明を求めます。

#### 4 議事

**事務局：**(配布資料に基づいて順次説明)

**委員長：**ありがとうございました。先にひとつ、資料について(新ダイヤ一覧及び路線図)字が少し小さく見にくいように思うので、もう少し字を大きくしていただくと見やすくなると思えます。

それでは、事務局の説明について、ご質問等がありますか。

**委員：**改正の作業についての苦労は承知のうえですが、施設営業時間前におけるバス停の省略について、図書館やアルプラザ前の省略について、ここは乗換の拠点になっているのかと推察しますが、省略することで利便性が低下するのではないかという懸念があります。どういった考えで編成されたのかお示しいただきたい。

**事務局：**バスの運行については8時～18時の運行時間で運行委託している滋賀バスさんと調整し、休み等労務管理を含めた協議をしています。その中で有効に走行できるように短縮を図っているところです。営業時間前の短縮については、大体の短縮対象時間は朝の8時台を省略しています。これは現時点のバス課題のひとつである出勤時間帯が被ることによるバス遅延があり、特に中央循環コースについては15分～30分程度の遅れが出ている状況があるため、少しでも短縮したいという思いがあります。

また、乗換について、アルプラザは2～3週間程度の期間乗降客数の調査を行ったところ、第1便は3日～4日間で1人降りる程度の状況です。また図書館については、開館が10時ということもあり、早く来ても9時半ごろという状況でありましたので、省略しても差し支えないと判断しました。そして当市は乗継制度というものを導入しており、これは野洲市役所、野洲駅、健康福祉センター(図書館に隣接する施設)、市民サービスセンターの4箇所で1回分の料金で別コースに乗り換えできるものであるため、当該箇所を省略することによる利便性の低下には繋がらないと考えております。

**委員長：**他にありますか。

**委員：**当社(近江鉄道)の営業管内で中主のあやめに営業所を置いています。年々この地域におけるバス路線は人口が伸びないこともあって、収益性においてなかなか厳しく、再三にわたり民間のバス事業者がどう運営していくか相談してきました。コミュニティバスから最初野洲市は運行し、費用対効果の中から自家用有償のサービスをされていますが、今回の再編案では特に総合体育館のあたりで近江鉄道との路線かぶりが出てきているので、この路線とリンクさせて事業を考えていきたいと今回この再編案を初めて見て感じています。当社も厳しい状況であるため、その部分をコミュニティバスで負担していただければそれに合わせて精査していきたいと思うのですがどうですか。

**事務局：**リンクしたご提案があれば、ご相談いただきたいと思います。

**委員：**コミュニティバスのみならず全体における交通について、市民に当社(近江鉄道)の交通状況

がどういったものであるかが中々知られない中で一昨年前に大幅に減便した背景がありますが、収益が取れない時間を見ていくと、コミュニティバスと複走している時間帯もあるのですり合わせをしていきたいと思います。

**事務局：**他にはありますか。

**委員：**既存路線バスとの関係について、今世の中で言われている MaaS (mobility as a service) という言葉があります。これは、移動モビリティをひとつのサービスとするものですが、市バス、民間バスそれぞれで移動を完結するのではなく、様々な移動手段をシームレス（継ぎ目のない）に繋げようというもの。人口減少やバス運転手の高齢化などがある中でいかに資源をシームレスに使っていくか、どういった仕組みがいいか等様々なところで協議しているところです。こういった意味で競合ではなく協働関係で乗継理念、例えば市と民間との乗継の場合に料金軽減するなど、今すぐは難しいかもしれないが考えていくべきではないですか。

**委員：**今の意見を踏まえるとこのダイヤ編成をする際に、野洲市全体をひっくるめて考えていけるのが理想ではと思います。その場合は調整がなかなか非常に大変な作業になるだろうし、1回や2回の会議では結論が出てくるものではないですが、公共交通を通して野洲市全体のまちづくりを考えていくべきかと感じています。どのようにしたらいいか今後考えていく必要があるのでは。

**委員長：**今委員から意見があったように野洲には赤字路線で走ってもらっており、高齢化もあり利便性を考えていると乗客も減少傾向にあります。部分的には増加しているところはあるかもしれないがこれからいかにして乗客を増やすか、市も連携を取りながら市民の立場に立って安心・安全に努めていってほしいと思うが、事務局はどうですか。

**事務局：**滋賀バスさん・近江鉄道さんと今後料金体系など費用負担を含めて協議していくのはいいことだと思っています。ただ、今回のダイヤ改正に関しては、余熱利用施設の延伸以外は既存路線の再配分であることをご理解いただきたい。また、滋賀バスさんには事前にダイヤ改正案について意見をいただき、反映しています。

**委員長：**他に意見は。

**委員：**路線を再編するのにあたり、事務局として乗降客が少ないからなのか、それとも余熱利用施設ができるから繋げるために再編するかなど、再編後の予算面を含めた考え方を示してほしい。

**事務局：**予算に関してはそこまで増えません。これは請負者である滋賀バスさんとも協議済みであります。それから、説明資料にあるように路線が従来方式の算定では増便しております。一部は0.5便減となっているところもありますが、基本的には減らしていません。乗客については平成30年度から乗客は回復傾向にあるので、客が減っているから減便するという考えではありません。市民要望や福祉施設からの要望を鑑みて可能な範囲で対応したところです。

**委員長：**他にないようなので、「令和2年度野洲市コミュニティバスダイヤ改正について」をご承認いただけますでしょうか。

異議が無いようですので、本件につきまして承認をされました。

## 5 その他

**委員長：**これで予定の議事は終了しましたが、委員の皆さまから他に意見はありますか。

**委員：**(近江鉄道様のチラシの紹介)

**委員長**：他にはありませんか。

**委員**：野洲病院の移転について、駅前に病院が移転した場合、本日の会議でも朝の時間の確保が難しいので省略するという話でありましたが、野洲病院の中の構造的なもので、野洲駅ロータリーに入ってどこかに新しい逃げ道ができるのであれば渋滞の懸念がなくなると思いますが、それがなければ駅前ロータリーがさらに混み合うことになり、朝の時間帯のバス運行ダイヤが確保できないとなると時間が合わないバスには乗らないとなって増々バス離れが進んでしまうのでは。全体的な話かもしれないけれども、市が交通の誘導体系をどのように考えているのかお示しいただきたい。

**事務局**：現時点で病院部局から聞いているのは、駐車場は駅前のロータリーからではなく、裏のJAがあるほうに立体駐車場を作りますので、そちらから車が入る形になる。ロータリーに車が来ることは、病院に下ろすだけという方はいるかもしれませんが、下ろすだけでも裏から行けると思っています。

**委員**：他に逃げる道ができるということですか。

**事務局**：ではなく、裏側から入る形になります。野洲小学校のプールの道がありますが、その交差点に信号等をつけて、病院の駐車場に入れるよう動線を作ることになりますので、駅前を通過して病院に行くということは考えておりません。時間帯（一方通行）などもありますので、そう混雑しないと思います。

**委員**：離合ができる道ですか。

**事務局**：そうです。住み分け的な考え方です。周辺が全く混まないと言われると混む可能性はありますが、（駅利用と病院は）動線が違うということです。

**委員**：市役所の前の道がとても混むのですね。そこが全く動かないもので、駅から出られない。

**事務局**：病院利用者は（野洲小学校プール前の）市道野洲駅下水門線を通る動線です。

**委員長**：滋賀銀から入る道は一方通行になりました。病院のほうへ入ったら戻れないように規制がありますので、病院に入ったら駅前には戻れません。

**事務局**：このご懸念については、病院部局に伝えさせていただきます。

**委員長**：他にはございませんでしょうか。

**委員**：今後の希望ですが、今回はコミュニティバスが議題でしたので、コミュニティバスの実績を資料につけてありますが、移動状況全体を見るために、野洲市全体の移動（近江鉄道、滋賀バス、福祉有償サービス等）実績について分かる資料が今後用意いただけるのであればありがたいと思います。これは県から各市町にお願いしていきたいと思っています。

**事務局**：可能な範囲でご用意していきたいと思っています。

**委員長**：他にないようでしたら、事務局にお返しします。

## 6 閉会

**事務局**：これをもちまして、令和元年度第1回野洲市地域公共交通会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。